

2026年8月海洋観測結果について

7月30日及び8月4日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により表1、図1に示す観測点で海洋観測を実施しました。調査結果は当センターホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>）に掲載するとともに、沿海漁協へファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

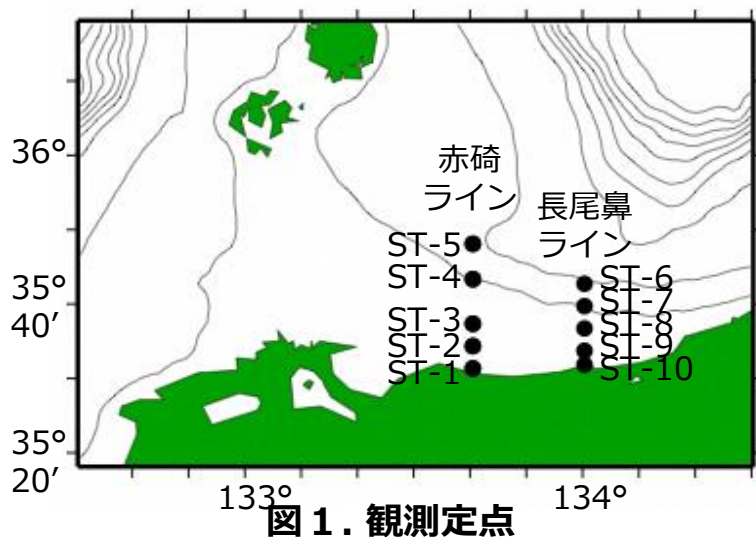


図1. 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ラインの表層水温は29～30℃で前月より7～8℃上昇しました。長尾鼻ラインの表層水温は28～29℃と前月より6～7℃上昇しました。

両ラインとも沿岸部では水深約50mまで28～29℃の高水温となっており、昨年に引き続き、異常高水温の状況となっています。

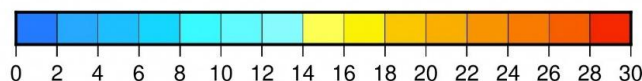
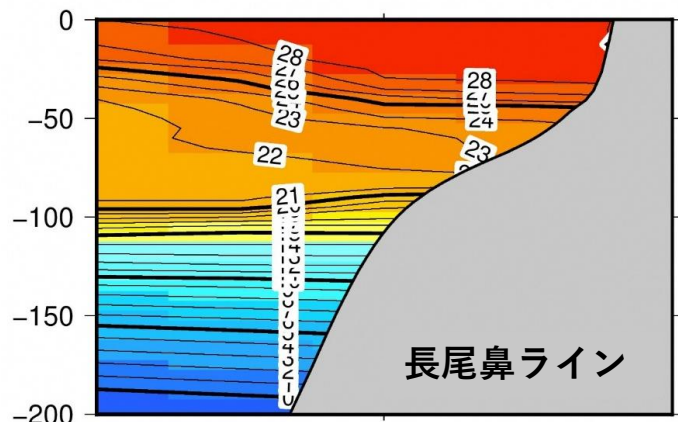
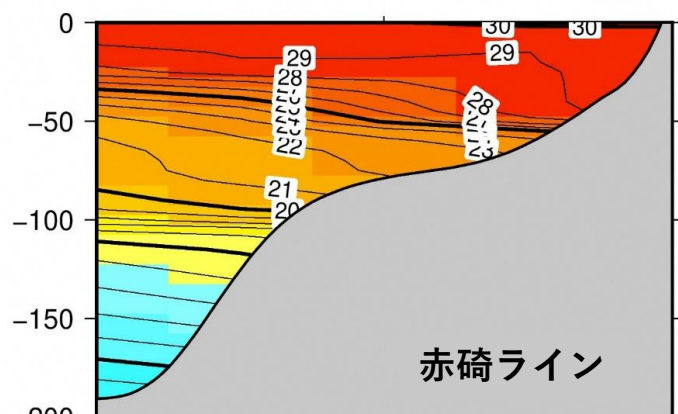


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

両ラインと全水深層で平年を上回る水温となりました。特に30m層では、赤碕ラインで平年より5.0℃、長尾鼻ラインで4.4℃高くなりました(表2)。

なお、赤碕ライン50m層を除く全ての観測水深で、2010年の観測開始以降の最高水温を記録しました。

水温が平年より高く推移した要因としては主に以下の要因が考えられます。

- 5月以降、対馬暖流の勢力拡大が継続していること
- 7月から晴天がが続き、日射量が増加したこと
- 台風や低気圧の通過が少なく、海水の鉛直混合が抑えられたこと

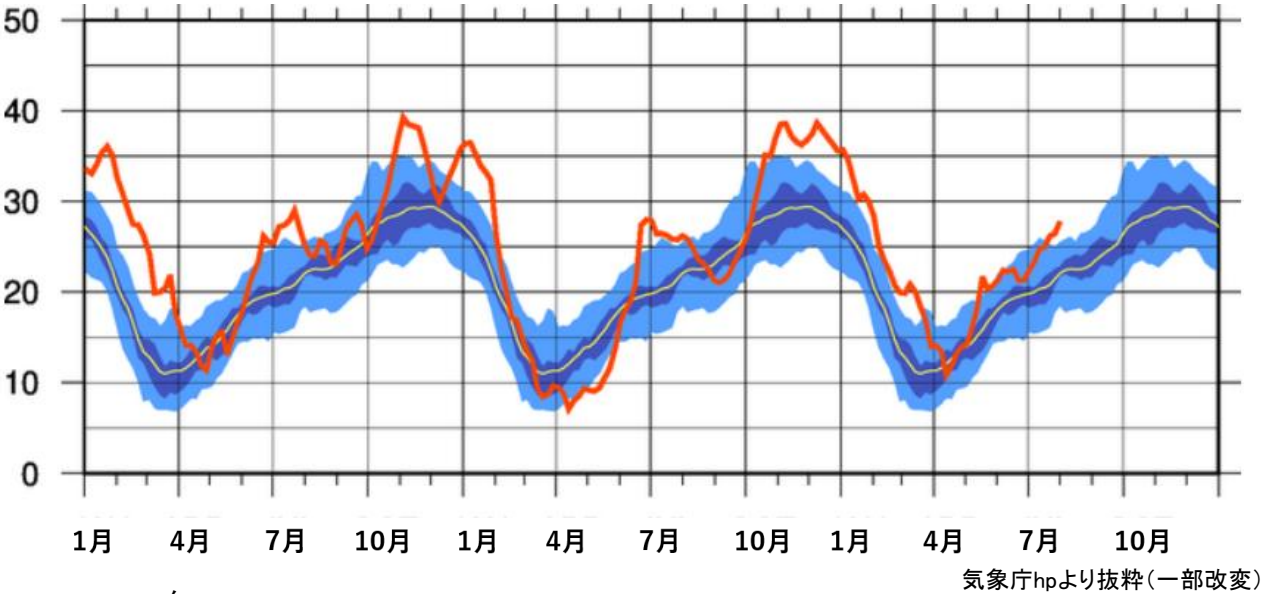
【今後について】

台風や低気圧の通過に伴う水温低下が予想されることから、8月末に実施予定の次回観測で水温の推移を注視します。

表 2 赤碕及び長尾鼻ラインの 8 月平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2026年	30.0	28.3	25.2	20.7	28.6	27.6	23.6	20.4
前年	28.4	24.1	21.7	19.1	28.2	22.9	20.3	17.9
2010-25年平均	26.7	23.3	21.3	17.7	26.7	23.2	21.0	17.8
平年差	3.3	5.0	3.9	3.1	1.9	4.4	2.6	2.5

図1. 対馬暖流の勢力の推移



< 参考 >
気象庁.“過去の気象データ検索”.気象庁.
https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/tsushima/tsushima_area.html